



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2022. 11-12

No.455

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



地は第2波の26日に今シーズンの最高値を記録しています。(Hawk Migration Network of JAPANによる)。

<謝辞>

タカの渡りにつきまして、以下の皆様から情報をご提供いただきました。調査部、IT委員会一同、心より御礼申し上げます。

浅見 徹、榎本秀和、小林みどり、嶋田富夫、千島康幸、中間平タカ渡り観察グループ(石松康幸、吉川幸子、吉成由紀夫)、長嶋宏之、中橋由美子、野口 修(五十音順、敬称略)

(調査部 小林みどり、IT委員会 佐野和宏)

表2 2022年タカの渡りまとめ表

	川口市・赤山城址公園	さいたま市緑区上野田	さいたま市見沼区見山	さいたま市岩槻区岩槻	さいたま市岩槻区馬込	蓮田市世山	蓮田市・黒浜沼	蓮田市・西城沼公園(北)	蓮田市・西城沼公園(南)	さいたま市西区西新井	鴻巣市大間	川島町芝沼	飯能市・天覧山	寄居町・中間平	東秩父村・皇鈴山	
8月	15								2							
	21		1													
	23											8				
	27									7						
	29					5				3						
9月	3					7									7	
	4									24			13	4		
	5									8						
	6												5	4		
	8														26	
	9							1		2					14	
	10					1				4					30	
	11									6						
	12														22	30
	13				2			3							31	
	14														10	
	15									2						
	16									4	10				15	
	17									7					6	
	19									3					5	
21	1	1							5					30		
22														42		
25														87		
26														36	16	
27														2		
28														7		
29														21		
30														18		
10月	1														10	
	8														3	
	9														3	

(※「会員から寄せられた『シギ・チ類の渡り情報』から」は次号掲載予定です。編集部)

第2回 おひとりさまバードウォッチング開催報告 普及部長 長野誠治

『しらこぼ』2022年3-4月号でご案内しました「第2回おひとりさまバードウォッチング」について報告いたします。

観察期間は2022年4月23日（土）から5月15日（日）まで、観察場所は埼玉県内、参加資格は日本野鳥の会会員として実施し、5名の方から観察報告をいただきました（下表参照）。みなさんの主な狙いは季節的に田んぼや水辺でのシギ・チヤサギ類だったようです。

以下、感想やコメントを原文のままご紹介いたします（観察日順）。いずれもバードウォッチングの楽しさが伝わってくるものばかりです。

野津弘毅さん：柳瀬川堤防上の遊歩道を、東武東上線柳瀬川駅から志木市役所まで歩きました。市役所からバスで秋ヶ瀬公園にも移動し、公園を端から端まで散策しました。カモの仲間がまだ残っていてくれたうえ、夏の鳥にも会えました。キジは♂♀合わせて7羽も見ました。遠かったですがオオルリを初めて見ました。セッカがすぐ近くまで来てくれて写真がきれいに撮れました。

浅見徹さん：芝川に渡ってきたばかりのオオヨシキリが、川岸のヨシの中でまだ遠慮勝ちに囀っていますが姿が見えません。バンが首を前後に動かしながら浅瀬を歩いて来ました。と、そこに1m以上もあろうかと思われるアオダイショウが泳いで来ました。何と、バンがアオダイショウを攻撃！尻尾を突いて追い立てます。アオダイショウは反撃する様子もなく岸辺のヨシ叢に逃げ込もうとすると、今度はオオヨシキリが水

辺の干潟に飛び出してきて、いつものギョギョシとは違うけたたましい声でアオダイショウを威嚇し始めました。卵や雛の大天敵に対する異種間共同防衛?! 今日には成功しましたが、これからしばらくの期間、厳しい生存競争が続くのでしょうか。

石川敏男さん：自転車で自宅近辺をじっくり探鳥することができました。例年通り、ムナグロ、キアシシギ、タシギが飛来したが、飛来期間は短くなったようだ。ムナグロの数は多めの印象だが、キアシシギは減少した。サギ類はアオサギが増加し、ダイサギ、チュウサギは例年通り、コサギは減って見られる機会は少ない。アマサギは減多に見られなくなっている。

長嶋宏之さん：柴山沼に翼をケガしたホシハジロが1羽と箆脱けのガチョウが1羽いた。久喜菖蒲公園に箆脱けのアヒルが3羽いた。嬉しいことに、香取公園にコガモが残っていた。

山部直喜さん：まず自宅周辺での生息確認。次に猛禽狙い。途中でそれ以外を探す。おおよそ計画通りの観察結果。猛禽も例年通りの場所で確認でき一安心。本日の一番は、最後に寄った自宅近くの田んぼで、ムナグロ30弱を確認できたこと。一人で万歳。

今後も多くの皆様に参加していただけるよう工夫していきたいと考えています。また、今回の貴重な報告内容は調査部に提供させていただくことにいたします。

参加者氏名	観察日時	観察場所	観察種数	番外
野津弘毅（ふじみ野市）	4月24日（日）9:00~14:30	志木市柳瀬川、さいたま市鴨川放水路、秋ヶ瀬公園、富士見市水谷田んぼ等	31	1
浅見 徹（さいたま市）	4月26日（火）7:30~11:30	さいたま市大宮第二公園、大和田緑地公園、芝川沿い	26	0
石川敏男（春日部市）	5月6日（金）6:20~6:45、10:25~12:15、14:40~17:45	春日部市薄谷、増田新田、上大増新田、下大増新田等	26	1
長嶋宏之（蓮田市）	5月6日（金）10:15~17:15	白岡市元荒川八幡橋、蓮田市山ノ神沼、加須市崎浮野の里、羽生市羽生水郷公園等	28	3
山部直喜（三郷市）	5月10日（火）8:00~16:00	越谷市中島、吉川市吉川美南、三郷市彦成等	35	1

● FieldNoteアプリとは

調査部の金井氏が独自開発したもので、スマホやパソコンにアプリをインストールするのではなく、日本野鳥の会埼玉のウェブサイト接続して使用するのが特徴です。

報告では、観察場所はアプリの機能で表示された地図で示すだけ、鳥種名の入力は画面に表示されるリストをチェックするだけで簡単です。

スマホで現場または自宅から、パソコンを使って自宅からという3つの報告方法があります。

今回は、フィールドノート派のあなたに、自宅からパソコンで報告する方法の概要を紹介します。詳細は取扱説明書をご覧ください。

● パソコンからの野鳥レポート

1つの報告の観察範囲は広すぎないように、川沿いなど線状の場合は行程1km以内、面的な場合は1km四方以内を目安にしてください。

① 会のウェブサイトのトップページ左側にあるメニューの中から「FieldNote」を選択

② 「FieldNoteの紹介」画面が開く

- ・取扱説明書 をダウンロード、または印刷。
- ・FieldNoteアプリ をマウスでクリックして入力画面を表示

- ・入力画面が表示された段階で「お気に入り」に登録しておく次回からの報告に便利です。

③ 項目ごとの入力については、取扱説明書P.4とP.8に説明があります。

- ・宛先：報告者のメールアドレスを入力。このアドレスに、報告したデータが所定の様式で届きます。調査部からの問い合わせ先にもなりません。

- ・観察者：フルネームで入力
- ・観察日：西暦年月日を8桁の数字で入力
- ・天気：観察時間中の天気を入力
- ・備考：触れないでそのままに
- ・「Googleマップを表示」をクリック→観察場所の地図を適度な縮尺で表示し、観察範囲の中央付近を右クリック→表示されるウインドウの一番上にある数字（緯度・経度）をクリック

- ・次にFieldNoteの画面に切り替えて「3次メッシュ変換」をクリックすれば、観察場所のメッシュコードが「3次メッシュの登録位置」に入力されます。

- ・3次メッシュが分かる場合は、「3次メッシュの登録位置」に直接入力することで、③のGoogleマップを使った一連の操作は省略できます。

④ チェックリストの表示

- ・リストは五十音順に表示されます。鳥類目録順を希望する場合はチェックを入れておきます。

- ・メッシュ検索範囲拡大倍率：1～5で、数字が小さいほど狭い範囲の出現鳥が野鳥データベースの記録に基づき表示されます。

大き過ぎると鳥種が多くなって探すのが大変です。なお、野鳥データベースに記録の少ない地域は、大きな数字にしないと表示される鳥種が少なくなります。どの程度が適切か、数字を変えながら試してみてください。

- ・検索期間：観察月を設定。「ALL」を選択すると通年のリストが表示されます。

- ・ここまで設定を終えたら「チェックリスト表示」をクリック

- ・あとは観察した鳥をチェックしていきます。

- ・間違えたときには、その鳥の「記録回数」の欄をクリックすると削除できます。

- ・リストに出ていない鳥があったら、リスト下の「観察種追加」をクリックすると追加できます。

- ・入力が終わったら、リスト下の「観察種を全て入力しましたか？」にチェックを入れます。

- ・「支部宛通信メモ」にメッセージなどを入力できます。

- ・「観察結果を公開する」は、他の報告者と情報共有する“birdViewer”のデータとして提供する場合、チェックを入れておきます。

なお、“birdViewer”については、取扱説明書を参照してください。いま話題の“eBird”の埼玉県内版とも言えるものです。

- ・更に下側にある「観察終了」をクリック。次いで、右に表示される「メール送信」をクリック→「メール送信成功です」と出たら報告完了です。

- ・届いたメールで報告内容を確認し、間違いがあったら修正したデータを再度送信してください。“birdViewer”を利用する際に必要なパスワードもメールに記載されています。

*** 次回は、スマホからのレポート方法を解説。**



野鳥情報

本庄市下仁手 ◇1月16日、シベリアジュリン♂1♀1、コホオアカ1。◇3月9日、ホオジロガモ♂1♀1、ミサゴ1、ハイイロチュウヒ♂1、ハイタカ2、ホオアカ3、コホオアカ2、シベリアジュリン♂7(下写真)、♀型5、オオジュリン10+。シベリアジュリンは撮影した5000枚の画像から個体識別して12羽を確認した(鈴木 功)。



さいたま市見沼区東宮下 東宮下親水公園
(53397514) ◇1月29日午後4時15分、オオハクチョウ成鳥3の群れ(下写真)と成鳥2・幼鳥3の群れ。計8羽が池にいた。午後4時23分、成鳥3が飛び立つ。南の方に向い、その後、大きく左旋回し北の方に飛ぶ。成鳥と幼鳥5羽の群れは、飛び立つ気配なく、水の中に頭を入れて採餌。他にマガモ、カルガモ、オオバン(藤原寛治)。



越谷市増林 ◇2月6日、コクマルガラス15+、ミヤマガラス300+(鈴木 功)。

川越市芳野台 入間川河川敷 ◇2月6日、チュウヒ♂大陸型1(鈴木 功)。

横瀬町 埼玉県民の森(53397192) ◇2月7日、トビ、コガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、ルリビタキ、アトリ、

ウソ、ホオジロ、アオジなど(嶋田富夫)。
熊谷市 久下橋上流の右岸(54391342) ◇2月7日、キジ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、ヒメアマツバメ、タゲリ、トビ、ノスリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、ホオジロ、カシラダカ(嶋田富夫)。

白岡市 白岡市総合運動公園 ◇2月9日、聞いたことのない鳥の声に、探すとモズが梢でぐずっていた。チョウゲンボウ♀が池の上空を通過。ハンティング・モードでなためか、池のカモ達は動揺しなかった。他にヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、カイツブリ、コサギ、オオバン、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、カワラヒワなど(長嶋宏之)。

さいたま市岩槻区 岩槻文化公園 ◇2月11日、ヒクイナ2が湿地の草の中を出入り。カワセミ、チョウゲンボウ、シロハラ、アカハラ、ツグミ、シメ、カシラダカなど。2月26日、ヒドリガモ50とオオバン40の群れと一緒に岸に上がり採餌。中にアメリカヒドリとヒドリガモとの交雑♂1。他にカルガモ、コガモ、カワウ(夏羽の個体も)、アオサギ、ダイサギ、イカルチドリ、タシギ、クサシギ、イソシギ、カワセミ、コゲラ、モズ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ホオジロ、カシラダカ、アオジなど。3月19日、ヒクイナ2、目視で2羽を観察して、違う場所から声1羽を確認した。3月20日、カルガモ、カイツブリ、カワウ、ヒクイナ、コチドリ、カワセミ、コゲラ、カケス、シジュウカラ、ウグイス(囀り)、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ♀、ツバメ(今季初認)、シメ、ホオジロ、アオジなど。(鈴木紀雄)。◇2月23日、ヨシ原の縁にある水溜まりで2羽のヒクイナが追いかっこ。元荒川の岸辺でイカルチドリ2が採餌。オオバン15+が淀みで群れていた。2月26日、林の小径にトラツグミ。対向者に驚いて笹藪に逃げ込ん

だ。歩き方が不自然なセグロセキレイがいた。怪我か病気か？ 右足指が癒着して、正常に開かない様子だった。他にカルガモ、コガモ、キジバト、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、ツグミ、ハクセキレイ、アオジなど（長嶋宏之）。

蓮田市笹山 ◇2月13日、電柱にハヤブサ成鳥1、真下を車で通っても飛ばず（鈴木紀雄）。

蓮田市黒浜 ◇2月13日、モズのペア、仲がよい。オオタカ若鳥飛翔、ベニマシコ3、クイナの声。2月20日、ミヤマガラス50の群れ、ハイタカ♂1、シメ8、カシラダカ夏羽3、アオジなど。遠くからリュウキュウサンショウクイと思われる「ピリリ…」の声響く。久々にコゲラ♂の頭の赤斑確認（鈴木紀雄）。◇2月27日、黒浜沼周辺でコガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、クイナ、オオパン、ハイタカ、タカ類不明種、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン（嶋田富夫）。

上尾市戸崎公園周辺～さいたま市北区三貫清水緑地 ◇2月13日、スズメ、ムクドリ、ヒヨドリ、カケス、モズ、メジロ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ハクセキレイ、セグロセキレイ、オナガ、オオタカ、ツグミ、カワラヒワ、アカハラ、シジュウカラ、コゲラ、アカゲラ、エナガ、ホオジロ、アオジ、ウグイス、カワセミ、カルガモ、コガモ、マガモ、オオパン、パン、コサギ、ダイサギ、カワウ、キジバト（村越百合子）。

草加市柿木町 ◇2月19日、オオタカ成鳥1（53396646）。ベニマシコ♂1♀1（53396647）（鈴木 功）。

上尾市地頭方～平方領領家 ◇2月19日、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、メジロ、シメ、シジュウカラ、モズ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キ

セキレイ、オナガ、カワラヒワ、エナガ、コゲラ、アオジ、ジョウビタキ♂3♀3、ツグミ19、キジ、キジバト、アカハラ、アオサギ若鳥、コサギ、カケス、アマツバメ、ヒバリ16、淡色のツグミ1、ガビチョウ（村越百合子）。

上尾市 丸山公園 ◇2月19日、スズメ、メジロ、シジュウカラ、ムクドリ、ヒヨドリ、アオサギ若鳥、ダイサギ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイ、カルガモ30、マガモ、ツグミ、カワラヒワ、モズ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、エナガ、ホオジロ、ジョウビタキ、オナガ、アオジ、カシラダカ、キジ♂♀1、若鳥3、カワセミ、カワウ、ルリビタキ♀、コジュケイ、カケス、キジバト、ヤマガラ、ガビチョウ。イカル確認、自分はここでは初めて（村越百合子）。

さいたま市岩槻区南辻 ◇2月19日、カルガモ、ヒドリガモ、コガモ、ヨシガモ♂1、アオサギ、ダイサギ、ハクセキレイなど（藤原寛治）。

本庄市の利根川 ◇2月22日、坂東大橋の南を個人探鳥。カモ類を楽しみに行ったところ、橋の下流にある草が生えた中洲に大きな鳥影。マガンでも居るのか？とよく見てみたら、なんとヒシクイ。亜種オオヒシクイのようだ。しかも、10羽ほどの小群だ。埼玉県で見られるとは思わなかった。北帰行の途中なのか？他にオカヨシガモ、オナガガモ、ホオジロガモ、カワアイサなど（大畑祐二）。

北本市 北本自然観察公園 ◇2月22日、ルリビタキ♂成鳥はジョウビタキ♀に追われて、その場から逃げても、少し経つと元の場所に戻ってきた。タシギが2羽並んで、ヨシを刈った後の湿地で採餌。カシラダカの群れとミヤマホオジロ♂が一緒に採餌。ガビチョウが目の前で小声で可愛らしく囁いた。他にキジバト、アオサギ、コゲラ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、シロハラ、ツグミ、ハクセキレイなど（長嶋宏之）。

飯能市 名栗湖 ◇2月22日、湖の畔でカヤ

クグリ2、ジョウビタキ、キセキレイ。山の方にカケス、アカゲラ、ヤマガラ、エナガ、シロハラ、コゲラなど（藤原寛治）。

蓮田市 山ノ神沼周辺(54390521) ◇2月25日、ヒバリが囀った（今季ここで初）。岸辺の小枝にとまっていたカワセミを横から急接近したもう1羽のカワセミが追い払った。他にヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、オオジュリンなど（長嶋宏之）。◇2月27日、マガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、タゲリ（下写真）、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、ホオジロ（嶋田富夫）。



蓮田市 西城沼公園とその周辺 ◇2月27日、気温が上がったためか、カラスが繰り返し追尾し合いながら、カラス柱となって上昇。その数7羽。その後、思い思いの方角に流れた。他にカルガモ、キジバト、コサギ、カワセミ、コゲラ、モズ、カケス、オナガ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、シメなど。3月9日、ハシブトガラスが樫の樹に巣材を運び込んでいた。ムクドリがペアになって、一緒に行動しはじめた。3月13日、二組のモズが番になった。繁殖を期待。冠羽が伸び、飾り羽になったコサギが、この日限りでいなくなった。3月19日、ハシ

ボソガラスが昨年使った巣に巣材を持ち込んでいた。3月21日、キジバトの鳴き声で、朝目を覚ました。昔、シラコバトの声で目を覚ましたことを思い出した（長嶋宏之）。

白岡市岡泉 ◇2月27日、林縁のノスリ2が追いかかけ合い。上空ツミ1とノスリ1が一緒に舞った（鈴木紀雄）。

蓮田市江ヶ崎 ◇2月27日、眉斑、下面は真っ白、上面青灰色の実に美しいオオタカ♂1が木にとまっていた（鈴木紀雄）。

久喜市菖蒲町柴山枝郷 ◇2月27日午後2時頃、ノスリ1（篠葉利夫）。

さいたま市見沼区膝子 ◇3月1日、ポツネンとタゲリ♂1佇む。3月16日、ハシボソガラスの群れにハヤブサ若鳥1が突っ込んで襲う。狩りに失敗し、北へ飛び去る。3月28日、タヒバリ多し。ヒバリの囀り。ツグミ、オオジュリン、カシラダカに加えてホオアカ2。キジも目立つ。ウズラとコチドリの声（鈴木紀雄）。

さいたま市桜区在家 ◇3月2日、田んぼでカワラヒワ120±の一团。一斉に飛び立つとき、翼の黄色が鮮やかで美しかった。田起こし中のトラクターの後を追うようにハクセキレイ10、ツグミ1、ムクドリ少数が採餌に集まっていた。他にムクドリ100±の群れ。チョウゲンボウ、スズメ、ヒバリ、タヒバリなど（大塚純子）。

鴻巣市大間三丁目 ◇3月5日、ウグイスの初鳴きを聞く。でも、まだへたくそ（榎本みち子）。

鴻巣市大間一丁目 ◇3月14日午前7時20分頃、ツバメを1羽見る。今季初認。同日午前10時頃、2羽のツバメがもつれ合うように飛翔（榎本秀和）。

戸田市新曽 ◇3月14日、イワツバメが今年も来ていました。こんなに早く来るのですね！ 見たのは10羽ほど。芦原小学校（北）交差点の所にある公園広場という公園の上空を飛んでいた。JRの高架鉄道の下に沢山古い巣があり、毎年使っているようだ（長谷部登美子）。

さいたま市緑区 見沼自然公園 ◇3月15日、オナガガモ♀の生殖羽へ換羽中の個体1羽

が幸いにも残っていた。眠っているヒドリガモ♂の脛が上から下に静かに動いて目を開けた。ベンチの下で、オオアカハラが周囲を気にしながら採餌。他にオカヨシガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、バン、オオバン、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ツグミ、スズメ、カワラヒワ、シメ、アオジなど（長嶋宏之）。

さいたま市岩槻区横根 ◇3月16日、電柱にノスリ1。今冬も隣接する見沼区膝子も含む地域でノスリ3が越冬した（鈴木紀雄）。

羽生市 羽生水郷公園(54392407) ◇3月17日、ヨシガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、バン、オオバン、トビ、モズ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、オオジュリン（嶋田富夫）。

鴻巣市川里中央公園付近(54391411) ◇3月17日、トビ、キジバト、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ニュウナイスズメなど（嶋田富夫）。◇3月29日、川里中央公園でノスリ、ヒヨドリ、ニュウナイスズメ、スズメ、カルガモなど（長嶋宏之）。

越谷市 越谷レイクタウン(53396655) ◇3月19日、ベニマシコ♂1（下写真）（鈴木功）。



表紙の写真

チドリ科タゲリ属タゲリ

昨年11月29日。画面におさめきれない数で飛んでくれた。 蟹瀬武男（さいたま市）

野鳥記録委員会の最新情報

日本野鳥の会埼玉 野鳥記録委員会

●ヤイロチョウ

英名 Fairy Pitta

学名 *Pitta nympha*

分類 スズメ目ヤイロチョウ科ヤイロチョウ属



橋爪和彦さん(未入会の方)より、昨年(2021年)6月8日正午ごろに飯能市内のダム湖の湖畔で撮影したというヤイロチョウの写真(上掲)が寄せられました。以下、橋爪さんのお話です。

「聞き覚えのないけたたましいさえずりが聞こえ、同行者がヤイロチョウの声と即断。声を頼りに探して行くと、杉林の中をさえずりながら枝移りする2羽の鳥影を見つけた。そのうちの1羽をファインダーにとらえ、数コマの写真を撮影することができた」。

当委員会は写真を検討した結果、体形と、全体の色調からヤイロチョウであることを確認し、本種を当会の県内野鳥リストに350番目の野鳥として追加することにしました。

これまでの埼玉県内でのヤイロチョウの記録は、1973年6月に秩父市内で落鳥個体の死骸が拾得された記録（埼玉県教育委員会編『埼玉県動物誌』参照）が唯一でした。まさに活動中という姿を記録したのは、橋爪さんの写真が初めてのものとなります。なお、このたびのヤイロチョウの記録について、その情報の収集にご協力いただいた多くの皆さまに謝意を表します。



行事案内

来年1～2月に開催される探鳥会のご案内です。予約なし、フリー参加の探鳥会復活です。

【予約制とフリーの二通りで開催！】

新型コロナウイルスとインフルエンザのダブル感染が懸念される季節ではありますが、感染防止策を十分にとった上で探鳥会を開催したいと思います。来年1月からは、予約制とフリー参加の2本立てで探鳥会を開催することにしました。

予約制探鳥会:「要予約」と記載。基本的に会員限定(埼玉会員優先)ですが、非会員の方も参加可能な探鳥会(一般可)もあります。

フリー参加探鳥会:「フリー」と記載。予約不要で、会員に限らず一般の方も参加可能な探鳥会です。ただし、コロナ対策は万全に。

何れも、探鳥会参加費を頂戴します。会員100円、非会員200円、中学生以下無料。

〈開催要項〉

1. 予約申込は、当会のホームページからとします(原則として開催日の4週間前からホームページで受け付けを開始します。予約制探鳥会では、予約なしでの参加はご遠慮ください)。
2. 探鳥会の運営は「コロナ禍の下での探鳥会運営マニュアル」(最新版が、当会ホームページの「探鳥会」>「今月の探鳥会」から閲覧できます)に沿って実施します。
3. 必須条件:(1)マスク着用、(2)参加票への記入、確認、署名。(体調などの確認項目があります。発熱などの症状のある方は参加をご遠慮ください)。
4. 筆記用具や観察用具(双眼鏡等)は、各自で用意してください。
5. 万一、探鳥会開催後に参加者から新型コロナウイルス感染者が出た場合は、参加者名簿を保健所などに提出することがあります。
6. 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、探鳥会を中止することがあります(最新情報をホームページで確認してから参加してください)。

さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会

期日:1月4日(水) 平日 要予約

集合:午前9時、さぎ山記念公園芝生広場付近。

解散:正午ころ、集合地で。

交通:大宮駅東口⑦番バス乗り場8:25 発国際興業バス「浦和学院高校」行きで「さぎ山記念公園」

8:48 着下車。

募集人数:20名 一般可

担当:大井、浅見(健)、浅見(徹)、宇野澤、小林(み)、森本

見どころ:「自力で双眼鏡を使って鳥を探す」プログラムを計画中。お待ちしております。

千葉県・ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会

期日:1月7日(土) フリー

集合:午前9時30分、ふなばし三番瀬海浜公園バス停留所付近。注:JR船橋駅での受付はしません。

解散:正午ころ、集合地で。

交通:JR武蔵野線 南浦和7:50→西船橋で総武線8:42に乗換え、船橋8:45着。京成バス9:00発船橋海浜公園行きに乗車し、終点下車。京成バス乗り場は京成船橋駅付近にあります。

担当:菱沼(一)、浅見(徹)、佐久間、佐野、杉本、菱沼(洋)

見どころ:埼玉で見られないミヤコドリ、ミユビシギを観察します。例の黒いやつは?

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日:1月8日(日) フリー

集合:午前8時45分、中央エントランス駐車場。

解散:正午ころ、集合地で。

交通:東武線館林行き 新越谷 7:23 春日部 7:38 東武動物公園駅 7:43 で南栗橋行きに乗り換え 南栗橋 7:54 着で東武宇都宮行きに乗り換え 柳生 8:10 着。またはJR宇都宮線下り大宮 7:27 栗橋 7:55 着 東武日光線に乗り換え 柳生 8:10 着。担当:佐野、浅見(徹)、小林(み)、佐藤(宏)、瀬尾、中橋、野口、別井、山本(恵)

見どころ:谷中湖ではミコアイサやカワアイサ、周辺の木々ではベニマシコに期待。

ご注意:柳生駅からの案内はありません。遊水地への標識に従ってお越しください。

久喜市・久喜菖蒲公園探鳥会

期日:1月12日(木) 平日 要予約

集合:午前9時、久喜菖蒲公園駐車場。

解散:正午ころ、園内で。

交通：JR 宇都宮線久喜駅西口から大和観光バス
1-1 (久喜菖蒲工業団地循環) 管理センター行き
8:16 発で、「久喜菖蒲公園」下車、徒歩約2分。
募集人数：15名

担当：長嶋、石川(敏)、佐藤(宏)、中川、別井、
細田、吉原(俊)、吉原(早)
見どころ：公園内での探鳥。ヨシガモやハシビロ
ガモ等カモ類10種他、今年は何が？
その他：帰りは下車したバス停から12:29発。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：1月14日(土) フリー
集合：午前9時15分、アスレチック広場前・第一
駐車場。

解散：正午ころ、集合地で。

交通：春バス(コミュニティバス)が便利です。①
東武野田線豊春駅西口発 8:06→内牧公園着
8:21 ※帰路は内牧公園発 12:23→12:38 豊春
駅西口、②東武伊勢崎線北春日部駅西口発 8:38→
内牧公園着 8:50※帰路は、内牧公園発 14:25→
14:37 北春日部駅西口着。

または、東武春日部駅西口、朝日バス③番乗り
場から春日部エミナス行き 8:41 発で、「共栄
大学入口」下車。西へ徒歩約7分。 ※帰路は
上記バス停発 13:07、14:47。

担当：石川(敏)、青山(美)、佐藤(宏)、佐野、
長野、橋口、別井
見どころ：雑木林、蓮池、田んぼ、屋敷林を巡り、
小鳥を探鳥。勿論、冬鳥も。

埼玉 Young 探鳥会@渡良瀬遊水地

期日：1月14日(土) フリー
担当：廣田、石塚(敬)、瀬尾
※詳細はHP・SNSに12月中旬に掲載します。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：1月15日(日) フリー
集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館。
解散：正午前に集合地で。
交通：JR 北浦和駅東口バスターミナルから東武バ
ス1番乗り場「さいたま市立病院行」8:21 発で
終点下車。
後援：さいたま市立浦和博物館
担当：小林(み)、青木、浅見(健)、浅見(徹)、須
崎、中橋、畠山、三好

見どころ：三室で冬を越すカモの仲間やオオバン、
ツグミ、カシラダカなどを観察。

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：1月19日(木) 平日 フリー
集合：午前9時、羽生水郷公園水族館前休憩舎。
解散：正午ころに集合地で。
交通：羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷ルート(ム
ジナもん号)を利用、東武伊勢崎線羽生駅東口8:04
発→南羽生駅8:21 発→「キヤツセ羽生・水郷公園」
下車、県道を渡り公園へ。

共催：羽生水郷公園管理事務所
担当：相原(修)、相原(友)、新井、関口、中川、
長嶋、細田、茂木
見どころ：池ではヨシガモ、芦原ではオオジュリン、
ベニマシコなど。上空を舞う猛禽も。
注意：帰りのバスは14:50発です。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：1月22日(日) 要予約
集合：午前9時、西武新宿線 狭山市駅西口。
解散：正午ころ、稲荷山公園で。
交通：西武新宿線 本川越8:40発、または所沢8:38
発に乗車。
募集人数：20名

担当：長谷部、金井、山口、山本(真)
見どころ：セキレイの仲間5種類を探しましょう。
みんなで探せば見られるかも。

さいたま市・大宮市民の森探鳥会

期日：1月28日(土) フリー
集合：午前9時、JR宇都宮線 土呂駅東口。または
午前9時20分、市民の森入口前(土呂駅東口か
ら徒歩約5分)。
解散：正午ころ、市民の森入口付近で。
担当：青木、浅見(健)、浅見(徹)、小林(み)、近藤、
三好、山田
見どころ：見沼たんぼでは一番北側の探鳥地。ビギナ
ーの方には担当が付きまので安心して。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：2月4日(土) 要予約
集合：午前9時30分、西武狭山線 西武球場前駅
前。
解散：正午ころ、狭山湖堤防にて。

募集人数：20名 一般可

担当：石光、金井、小林(ま)、佐藤(久)、村上(将)、持丸

見どころ：カイツブリ類、カモ類の珍客、ルリビタキ
…期待を胸に如月の湖を訪ねましょう！

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：2月5日(日) 要予約

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き8:37発で「念仏橋」下車。

解散：正午ころ、浦和くらしの博物館民家園。

募集人数：20名 一般可

担当：大井、伊藤、須崎、手塚、中橋、野口、藤田

見どころ：野鳥観察は自分で見つけるから楽しい、ワクワクする。ビギナー大歓迎！

ご注意：コースの途中にトイレはありません。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：2月5日(日) 要予約

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

解散：正午前に集合地で。

交通：JR 高崎線 北本駅西口から、「北里大学メディアカルセンター行き」バス 8:38 発で「自然観察公園前」下車。

募集人数：20名

担当：吉原(俊)、相原(修)、秋葉、浅見(徹)、大畑、近藤、関口、千葉、吉原(早)

見どころ：小鳥たちが間近に観察できます。池にはカモ、上空には猛禽も。

嵐山町・菅谷館都幾川探鳥会

期日：2月5日(日) フリー

集合：午前8時35分、東武東上線 武蔵嵐山駅西口。または午前9時15分、県立嵐山史跡の博物館駐車場。※博物館駐車場は博物館利用者専用ですので、駐車する場合は「蝶の里公園駐車場」にしてください。

解散：正午ころ都幾川桜堤公衆トイレ付近で。

交通：東武東上線 川越7:58発、または寄居8:05発に乗車。

担当：千島、新井、今村、中村(豊)、持丸、山本(恵)
見どころ：雑木林でカラ類、イカル、ルリビタキな

ど。河原でクサシギ、猛禽などに期待。

埼玉 Young 探鳥会@彩湖

期日：2月5日(日) フリー

担当：廣田、石塚(敬)、櫻井、瀬尾

※詳細はHP・SNSに1月中に掲載します。

さいたま市・秋葉の森総合公園探鳥会

期日：2月8日(水) 平日 要予約

集合：午前9時30分、公園内管理棟付近。

交通：西大宮駅バス乗り場から西大02わくわくランド行き9:00発で「秋葉入口」下車。または、大宮駅西口⑧番バス乗り場から大62リハビリセンター行き8:42発で「秋葉入口」下車、徒歩約15分。

解散：11時30分、集合地で。

募集人数：20名

担当：近藤、今村、浅見(徹)、石塚(敬)、千葉、藤田、村越、吉原(早)

見どころ：前回はルリビタキなど33種。自然保護ゾーンを中心にゆっくり“気長に”観察。

帰りのバス：下車したバス停から11:57発(西大宮駅)、12:03、12:27発(大宮駅)。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：2月9日(木) 平日 要予約

集合：午前9時40分、公園南入口から入場して、噴水広場付近(各自で入園してください)。

解散：正午ころ、中央口付近で。

交通：東武東上線 森林公園駅北口から熊谷駅南口行きバス 9:00 発で「滑川中学校」下車(ひとつ手前の「森林公園南口入口」は通過して下さい)、歩道橋を渡り少し戻る。

費用：参加費と入園料大人450円、中学生以下無料、65歳以上210円(要年齢確認)。

募集人数：20名

担当：中村(豊)、大畑、櫻井、鈴木(秀)、千島、藤澤

見どころ：山田大沼までややアップダウンのある片道約3kmのコース。雑木林の小鳥や沼のカモ類に期待です。

東京都・浮間公園ビギナー探鳥会

期日：2月11日(土) 要予約

集合：午前10時、JR 埼京線 浮間舟渡駅前。

解散：正午ころ、現地で。

募集人数：20名 一般可

担当：小林(み)、浅見(健)、石塚(敬)、今村、藤田

見どころ：公園の池にのんびり浮かぶカモ。とても観察しやすい鳥です。リーダーに頼らず、図鑑を参考に自分で見分けてみましょう。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：2月16日(木) 平日 要予約

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線 花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園管理事務所前。

解散：正午ころ、現地で。

交通：東武伊勢崎線 春日部8:11→久喜8:30→花崎8:37。またはJR宇都宮線 大宮7:53→久喜8:15で東武伊勢崎線乗り換え。

募集人数：15名 一般可

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：茂木、相原(修)、相原(友)、千葉、長嶋、藤田、別井、細田

見どころ：青毛掘川～公園内を歩き、水辺や林の身近な野鳥を楽しみます。空の鷹も。

上尾市・丸山公園探鳥会

期日：2月18日(土) フリー

集合：午前7時50分、丸山公園南口入口付近。

解散：11時頃、集合地付近で。

交通：JR 高崎線 上尾駅西口③番バス乗り場から尾32西上尾第二団地經由リハビリセンター行

7:26発で「丸山公園入口」下車、徒歩約4分。

担当：近藤、秋葉、浅見(健)、浅見(徹)、柴田、瀬尾、千葉、村越、吉原(早)

見どころ：冬は3年ぶり、鳥たちはどうしているかな。春への準備を観察しましょう。

注意：帰りは下車したバス停から11:50発。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：2月19日(日) フリー

集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館。

解散：正午前に集合地で。

交通：JR 北浦和駅東口バスターミナルから東武バス1番乗り場「さいたま市立病院行」8:21発で終点下車。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：須崎、青木、浅見(健)、浅見(徹)、小林(み)、

中橋、畠山、三好

見どころ：冬鳥達も渡りの準備を始めます。風が強くなければ、芝川沿いを中心に歩きます。

さいたま市・岩槻文化公園探鳥会

期日：2月25日(土) フリー

集合：午前9時10分、岩槻文化公園の国道16号側駐車場。

解散：正午ころ、集合地で。

交通：東武アーバンパーク線 岩槻駅東口から朝日バス8:43発しらこぼと水上公園行で「村国入口」下車。バス停からご案内します。

担当：長野、青山(美)、石井(健)、石川(敏)、市原、内田、鈴木(紀)、鈴木(庸)、長嶋、藤原

見どころ：公園内～元荒川沿いの道をゆっくり歩いて林、水辺、ヨシ原の鳥たちを観察。

注意：岩槻駅での案内人の出迎えはありません。

坂戸市・浅羽ビオトープ探鳥会

期日：2月25日(土) 要予約

集合：午前9時05分、坂戸駅北口。または、午前9時30分、浅羽ビオトープ駐車場。

解散：正午ころ、集合地で。

交通：JR 埼京線 大宮8:11→川越8:35で東武東上線へ乗り換え。川越8:41→坂戸8:54。

募集人数：20名

担当：佐野、浅見(徹)、石光、藤田

見どころ：初めての探鳥地。さて、どんな鳥が出ますでしょうか。

千葉県銚子市・銚子漁港探鳥会

期日：3月4日(土) 要予約

集合：午前7時、東武春日部駅東口。

解散：午後7時ころ、東武春日部駅東口。

交通：往復貸切バス(中型)を利用。

担当：入山、近藤、佐野、藤澤

費用：10,000円(バス代、昼食代等) 過不足の場合は当日清算。

定員：24名(最少催行人数16名)

受付：2023年2月1日から予約受付開始。

見どころ：3年連続新型コロナで中止になっていましたが今回は『大丈夫』と信じて図鑑片手にカモメ類の識別の勉強をしましょう。

その他：昼食は現地で地魚料理を食べます。雨天決行。参加者には後日、案内を発送します。



行事報告

4月23日(土) 栃木県 小倉山森林公園

参加：20(会員20)名 天気：晴

キジ キジバト アオサギ トビ ツミ オオタカ コゲラ サンショウクイ モズ カケス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ カワガラス コサメビタキ キビタキ オオルリ スズメ イカル アオジ (28種) この探鳥会はオオルリが目玉！オオルリが出ないとリーダーとしては面目が立たない。今回は開始早々オオルリ出現。こうなると俄然張り切る。サンショウクイは未だ会えないのではと予想したら大外れで、いろいろな場所でオスメス見ることができた。終わってみれば、見たい鳥は全て出現してくれ、満足のいく探鳥会だった。ただ、トイレが閉鎖され集合場所の駅のトイレのみというのが問題。来年以降の課題。(青木正俊)

4月24日(日) 北本市 石戸宿

参加：33(会員33)名 天気：曇

コジュケイ キジ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト アオサギ ダイサギ カワセミ コゲラ サンショウクイ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ アカハラ ツグミ キビタキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (29種) (番外：ガビチョウ) 近場で夏鳥を楽しむ探鳥会。キビタキの囀りが新緑の樹間のあちこちから。サンショウクイ、アカハラの囀りも。高尾の池でカワセミの♀をじっくり観察。まだ立去っていなかった冬鳥たちにも会えた。コガモは冬より沢山居て渡り途中の立ち寄り。全部のコガモが池の浅瀬でピチャピチャ音を立て一心不乱に食事中。北へ帰る直前のエネルギー補給。連休明けには冬鳥はいなくなっているでしょう。(吉原俊雄)

4月29日(金祝) さいたま市 大宮第二公園

参加：34(会員28)名 天気：曇

カルガモ コガモ キジバト カワウ アオサギ バン カワセミ コゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ エナガ センダイムシクイ メジロ オオヨシキリ ムクドリ アカハラ ツグミ キビタキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (28種) (番外：ドバト) 渡り途中の夏鳥の囀りを狙った。多くの夏鳥が毎年この地を通過するが、鳴き声が聴けるのはほんの短期間。運を天に任せての無謀な探鳥会を企画した。結果、キビタキ、アカハラ、センダイムシクイの声を聴くことができたので、及第点はもらえるかな。大宮第二公園管理事務所との共催で、一般の方6名も参加したが、楽しんでいただけたと思う。厳しいけれど、来年もやりますよ！(浅見 徹)

5月6～8日(金～日) 東京都 三宅島

参加：18(会員18)名 天気：7=曇時々雨時々晴
8=晴後曇

コジュケイ キジ カラスバト キジバト クロアシアホウドリ フルマカモメ オオミズナギドリ ハシボソミズナギドリ カツオドリ ヒメウカワウ ウミウ ダイサギ クロサギ アマツバメ ヒメアマツバメ ウミネコ トウゾクカモメ ミサゴ トビ ハイタカ アオバズク コゲラ モズ ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス イイジマムシクイ メジロ ウチヤマセンニュウ ミソサザイ アカコッコ コマドリ イソヒヨドリ キビタキ スズメ カワラヒワ ホオジロ (41種) コロナで中断して、3年ぶりの探鳥会。5月6日夜「海が荒れて接岸できずに戻るかもしれない」という条件付きで東京港を後にした。結果は、無事に上陸出来て期待していた三宅島の鳥たちが総出演。大満足の探鳥会となった。帰りの航路では、海上に立ち昇る竜巻の遠望に始まり、曇天の下、強風・高波の中を夥しい数のオオミズナギドリが延々と帯をなし、その中に混じる数少ない他の海鳥を探し出し、甲板上で大騒ぎ！ 疲れたけれど、楽しい3日間だった。(浅見 徹)

5月14日(土) 長野県 中軽井沢 Ladies'

参加：12(会員12)名 天気：曇後晴

キジ カルガモ キジバト カワウ トビ ノスリ コゲラ アオゲラ サンショウクイ モズ

オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマ
 ガラ ヒガラ シジュウカラ ツバメ イワツバ
 メ ヒヨドリ ウグイス エナガ センダイムシ
 クイ メジロ ゴジュウカラ ムクドリ コムク
 ドリ クロツグミ コルリ ジョウビタキ サメ
 ビタキ コサメビタキ キビタキ オオルリ ス
 ズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキ
 レイ カワラヒワ マヒワ イカル ホオジロ (41
 種) (番外: ドバト、ガビチョウ) 天候が心配さ
 れたが、傘もささずに探鳥ができた。臨時のメイ
 ンリーダーで、コースを間違えるというハプニン
 グも。雨上がりのためか、小鳥のさえずりのシャ
 ワー。よく見られたのはキビタキ、アオゲラ、コ
 ムクドリ。冬鳥のマヒワ、ジョウビタキ (雌)
 も! ジョウビタキは近隣で繁殖の可能性もあるか
 もしれない。最後は、晴れ間ものぞき、トンボの
 湯の近くの広場で鳥合せをして解散。(菱沼洋子)

5月15日(日) さいたま市 三室地区

リーダーの都合により中止。(青木正俊)

5月21日(土) 加須市 加須はなさき公園

参加: 15(会員14)名 天気: 曇後小雨

キジ カルガモ キジバト ゴイサギ アオサギ
 ダイサギ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガ
 ラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ
 ツバメ オオヨシキリ セッカ ムクドリ スズ
 メ ハクセキレイ カワラヒワ (20種) (番外: ド
 バト) 参加者を2班に分け、同じコースを時間
 差で出発。先ず、子育て中の多数のムクドリ、稍
 で囀るカワラヒワを皆で観察。植物園ではオオヨ
 シキリの声に聞き入り、園外の小麦畑ではセッカ
 の囀り飛行に、思わず顔を綻ばせた。セッカは5
 年以上観察できなかった種だ。後半小雨になった
 が、楽しめた。(長嶋宏之)

5月21日(土) 川越市 伊佐沼 Young

参加: 22(会員15)名 天気: 曇時々雨

カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワ
 ウ ヨシゴイ ダイサギ コサギ バン オオバ
 ン コアジサシ コゲラ チョウゲンボウ ハシ
 ボソガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ イ
 ワツバメ オオヨシキリ セッカ ムクドリ ス
 ズメ ハクセキレイ カワラヒワ (24種) 2年
 3ヶ月ぶりのYoung探鳥会。オンラインでも同時開

催。雨が心配だったが、たいして降られることな
 く、この時期の伊佐沼らしいコアジサシ、ヨシゴ
 イ、オオヨシキリなどが見られた。(廣田純平)

5月21~22日(土~日) 長野県 戸隠高原

参加: 15(会員15)名 天気: 21=曇時々雨
 22=曇後雨

キジ オシドリ カルガモ カイツブリ キジバ
 ト アオサギ ツツドリ カッコウ アマツバメ
 ハチクマ トビ オオタカ ノスリ アカショウ
 ビン コゲラ オオアカゲラ アカゲラ アオゲ
 ラ サンショウクイ モズ カケス ハシボソガ
 ラス ハシブトガラス コガラ ヤマガラ ヒガ
 ラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス
 エナガ センダイムシクイ オオヨシキリ ゴジ
 ユウカラ キバシリ ミソサザイ コムクドリ
 マミジロ クロツグミ アカハラ コルリ コサ
 メビタキ キビタキ ニュウナイスズメ スズメ
 キセキレイ カワラヒワ イカル ホオジロ ノ
 ジコ アオジ (51種) 待ちに待った戸隠探鳥会。
 お天気の方はぱっとしないが、みんなの顔は輝い
 ている。屋外での食事は難しいので、宿の周りを
 探鳥後、大広間で昼食を摂り、植物園へ向かった。
 キビタキ、コルリ、クロツグミ、アオジの囀りを
 聴きながら隋神門へ。この日のハイライトはノジ
 コで、可憐な姿と囀りを堪能。久しぶりのマミジ
 ロの囀りだったが、姿は少しだけ。翌朝は、午前
 4時半出発。宝光社の西側の山中から、キョロロ
 …と。植物園は小川の小道でミソサザイが杭の上
 で囀ってくれた。奥社入り口のトイレへ。ハチク
 マ2羽が頭上を旋回。最後はキャンプ場へ。コム
 クドリが、私たちを迎えてくれた。(菱沼一充)

5月22日(日) 狭山市 入間川

参加: 16(会員15)名 天気: 晴

カルガモ キジバト アオサギ コチドリ イソ
 シギ カワセミ コゲラ オナガ ハシブトガラ
 ス ヤマガラ シジュウカラ ツバメ イワツバ
 メ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ス
 ズメ セグロセキレイ ホオジロ (20種) (番外:
 ドバト) 5月の探鳥会は2年ぶりだ。川の流れ、
 草の生え方、中洲のでき方が変わり、チドリやシ
 ギ、ササゴイには好ましくない環境になっていた。
 コース内で初めてイワツバメが営巣している。離
 れてそっと見させてもらった。(長谷部謙二)



連絡帳

● 訃報



元代表藤掛保司さん(川越市)が9月11日(日)逝去されました。享年84歳。同月16日(金)午前10時30分から川越市内の斎場で葬儀が開催され、「日本野鳥の会

埼玉 会員一同」の供花のもと、多くの会員たちが参列して、お別れを惜しまました。

藤掛さんは1994年3月入会、2000年8月副支部長に、2003年8月5代目支部長に就任。2011年法改正により支部長から代表に役職名を変更。2015年8月に代表を退任して顧問に就任。合計22年間にわたり、会を導いてくださいました。ご冥福をお祈りします。

● 戸田市の鳥決定

本年7-8月号本欄でご紹介した「戸田市の鳥」として、10月4日(火)付け読売新聞朝刊によれば、カワセミが選ばれました。

投票総数1,507票のうち、カワセミが445票で3割近くを占め、シジュウカラ178票、ハクセキレイ169票等と続いたとのことでした。

● 会員数は

10月3日現在合計1,463人です。

活動報告

6月24日(金)『しらこぼと』7-8月号袋

詰め作業(浅見徹、海老原教子、海老原美夫、森本國夫、山部直喜)。

8月17日(水)-19日(金)、メール交換による役員会を開催。**議案第1号**「従来本部『野鳥』誌と同封発送していた分以外の、埼玉事務局から第三種郵便物で発送していた『しらこぼと』を、本年9-10月号から、ヤマト運輸(株)DM便に変更して発送する」、**議案第2号**「令和4年11~12月探鳥会(案)」を承認した。

10月12日(水)-14日(金)、メール交換による役員会を開催。**議案第1号**「調査部で実施した県内の夏鳥分布調査(2020年と21年の5~7月)、冬鳥分布調査(2020年12月~21年1月と2021年12月~22年1月)の詳細を当会ホームページに発表し、概要を会報に掲載する(調査部)」、**議案第2号**「川越市の伊佐沼花火大会に関する要望書」を川越市長に提出することの承認を求める(小林)」、**議案第3号**「令和5年1-2月探鳥会計画(普及部)」を承認した。

10月24日(月)-26日(水)、メール交換による役員会を開催。前回(10/12-14)役員会の議案第2号で提出が承認された「川越市伊佐沼花火大会に関する要望書を川越市長に提出する」件の提出文案を、**議案第1号**として承認した。

編集後記

今年1月末に終了した野鳥分布調査の報告を上記のような方針で行うことについて役員会の承認が得られました。野鳥データベースを活用して取りまとめを進めているので、前回の調査に比べて格段に早く皆様に結果を報告できる予定です。(森本)

しらこぼと 2022年11-12月合併号(第455号)

発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

郵便振替 00190-3-121130 URL <https://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org

編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org

住所変更などの連絡は gyomu@wbsj.org または TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635

〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。